

全文構造解説

この冊子の使い方

1つの文について、【英文】→【構造】→【解説】→【語句】の順で並んでいる。

1. 【英文】を音読する。構造と内容が理解できれば、次の【英文】に進んでよい。理解できなければ、
2. 【構造】を音読する。文の構造と、まとめりごとの訳（直訳）を確認する。さらに、必要に応じて、
3. 【解説】を読む。直訳を咀嚼して、要するにどういうことを言っているのか、内容の理解を試みる。
この時点で理解できなければ、「解答・解説」の日本語訳（意識）で内容を確認する。
4. 理解した内容を念頭に、構造と内容が理解できるまで、繰り返し【英文】と【構造】を音読する。
5. 【語句】を音読して、意味を確認する。

最後にもう一度、できれば二度三度、本文英文を、できるだけ速く、頭から意味をとりながら読むこと。

凡例および注意点

凡例：

① = 大問番号 ❶ = 段落番号 ❶ = 文番号

【構造】 = 【構造】

主 = 主語 動 = 動詞 目 = 目的語 補・名 = 補語となる名詞

副 = 副詞 関代 = 関係代名詞 過分 = 過去分詞 など

「 」 = 直前部分までの訳（直訳中心）

[] / { } / [[]] など = 注意を要する、句や節などの意味のまとめり

*❶ = 【解説】 とくに注意を要する箇所の指摘および解説

【暗例】 = 例文。暗唱できるようになることを強くお勧めする

() = 省略可、あるいは補足・別表現

[] = 直前の語句との入れ換え可

< > = 重要な用語、あるいは構文・イディオム

【語句】 = 【語句】

[|] = 発音。左側が発音記号。右側が発音時の目安となるカタカナ表記で、ゴシック体はアクセント

⇒ = 派生語・反意語 など

注意点：

【構造】と【解説】は、既出表現や構造が平易な英文については、簡略化、あるいは省略することがある

1

1 ① What do Hercule Poirot, Sherlock Holmes, and James Bond (007) all have in common?

構造 ① **What** 「何を」 **動** **(do 主) Hercule Poirot, Sherlock Holmes, and James Bond (007) all have** 「エルキュール・ポワロ、シャーロック・ホームズ、そしてジェームズ・ボンド (007) のみんなは持っているか」 **副** **in common?** 「共通して」

*1：動詞 have の目的語となる疑問代名詞の What。have O in common 「共通して O を持っている」

語句 Hercule Poirot [eəˈkjʊ:l pwa:rɔ:u | エアキューウ プワーロウ] 「エルキュール・ポワロ」、Sherlock Holmes [ʃəˈr:lək həʊmz | シャーラク ホウムズ] 「シャーロック・ホームズ」、James Bond [dʒeɪmz həʊnd | ジェイムズ ボンド] 「ジェームズ・ボンド (007 「ダブル・オー・セブン」は作中のコードネーム)」、have O in common 「共通して O を持っている」

② The answer is that they are famous solvers of mysteries, whose stories are relayed in thrilling action-adventure fashion.

構造 ② **The answer 動 is 補・名** **①** **[接 that** 「その答えは～ということである」 **主 they 動 are 補・名** **{famous solvers of mysteries}** ^{*2}, 「彼らはミステリー (推理小説) の有名な解決者で」 **関代 whose stories 動 are relayed** 「それら (ミステリー) の物語は伝えられる」 **副 in thrilling action-adventure fashion** **】**. 「スリリングなアクションアドベンチャーのやり方で」

*1：文頭に接続詞 that を置くことで、その文を名詞節にすることができる。このような that が導く節を that 節という。ここは、that 節が補語となっている。

*2：コンマは直前の内容に情報を追加するときに使われることが多い。ここでは関係代名詞の所有格 whose の直前に使われているが、whose (= mysteries') stories are relayed ... 「ミステリーの物語は伝えられる…」以降が追加情報ということ。このような、コンマに続く関係代名詞を継続用法 (非制限用法) といい、コンマ直前の先行詞や内容に説明を追加する役割をする。

語句 solver [sɒlvə | サウヴァ] **名** 「解決者」⇒ solve [sɒlv | サウヴ] **動** 「解決する」、relay [riːleɪ | リーレイ] **動** 「伝達する」、in ～ fashion 「～の方法で」、thrilling [θrɪlɪŋ | トゥリリング] **形** 「スリリングな、ドキドキさせる」⇒ thrill **名** 「スリル」、action-adventure [ækʃən ɒdvɛntʃə | アクション アドヴェンチャ] **形** 「冒険活劇の」

③ They were created respectively by Agatha Christie, Sir Arthur Conan Doyle, and Ian Fleming.

構造 ③ **They 動 were created 副 respectively** 「彼らはそれぞれ創作された」 **副 by Agatha Christie, Sir Arthur Conan Doyle, and Ian Fleming.** 「アガサ・クリスティ、アーサー・コナン・ドイル卿、そしてイアン・フレミングによって」

語句 create [kriːɪt | クリエイト] **動** 「創作する」、respectively [rɪspekˈtɪvli | リスペクテヴリ] **副** 「それぞれ」、Agatha Christie [ægəθə kristi | アガタ クリスティ] 「アガサ・クリスティ (1890—1976. 英国生まれの推理作家)」、Sir [sɜːr | サー] **名** 「卿 (英国叙勲制度の「騎士」に由来する称号)」、Arthur Conan Doyle [ɑːrθə kəʊnən dɔɪl | アーサー カウンン ドイウ] 「アーサー・コナン・ドイル (1859—1930. 英国生まれの推理作家)」、Ian Fleming

[iːən flɛmɪŋ | イーアン フレミング] 「イアン・フレミング (1908—1964. 英国生まれの冒険小説作家)」

④ That these authors were all themselves extraordinary figures whose colorful life-stories have been made the subject of biographies and television documentaries is perhaps not well-known.

構造 ④ **主 [接 That** 「～ということは」 **主 these authors 動 were 副 all ① themselves 補・名 {extraordinary figures** 「これらの著者がみな、彼ら自身が並外れた人物だった」 **関代 whose colorful life-stories 動 have been made 目 the subject of biographies and television documentaries** **】** 「その色彩豊かな人生の物語が伝記やテレビのドキュメンタリーの主題に作られている」 **動 [is 副 perhaps ② not] 補・形 well-known.** 「おそらくあまり知られていない」

*1：再帰代名詞の強調用法で、these authors を強調している。ふつう強調する語の直後に置かれるが、文脈上明らかであれば、置き場所は比較的自由。ここでは、直前の all も強調を表す副詞。**略例** I myself was not responsible for the accident. 「私自身はその事故に責任はなかった。」 My son built this dog house all by himself. 「息子はたった一人でこの犬小屋を作った。」

*2：否定語 not は副詞。ここでは be 動詞を否定するものとして [] でくくったが、続く形容詞 well-known を否定するものと解釈してもかまわない。

語句 author [ɔːθə | オータ] **名** 「著者」、extraordinary [ɪkstrɔːrdənəri | イクストゥローディネリ] **形** 「ふつうではない、並外れた」、figure [fɪgjə | フィギヤ] **名** 「人物、数字、図表」、subject [sʌbdʒɪkt | サブヂクト] **名** 「主題」、biography [baɪəgrəfi | バイアグラフィ] **名** 「伝記」、documentary [dɒkjʊməntəri | ダキュメンタリ] **名** 「ドキュメンタリー」、perhaps [pərhæps | パハプス] **副** 「おそらく」、well-known [wél nəʊn | ウェウノウン] **形** 「よく知られている」

② ① As one of the four most commercially-successful film series of all time (along with Harry Potter, Star Wars, and the Marvel Franchise), the storyline of the Bond films may be familiar to many.

構造 ② **副 [前 As 目 ① {one of the four most commercially-successful film series of all time 副 (along with Harry Potter, Star Wars, and the Marvel Franchise)}** **】**, 「史上最高の商業的成功を収めた四大映画シリーズの1つとして (ハリー・ポッター、スター・ウォーズ、マーヴェルシリーズとともに)」 **主 the storyline of the Bond films** 「ボンド映画の物語の流れは」 **動 may be 補・形 familiar to many.** 「多くの人々におなじみかもしれない」

*1：前置詞に続く名詞を〈前置詞の目的語〉という。〈前置詞＋名詞〉は原則、副詞句と考えるとよい。

語句 commercially-successful [kəməˈrʃəli sʌksɛsfl | コマーシャリ サクセスフウ] **形** 「商業的に成功している」、～ of all time 「史上最高 (最大) の」、along with ～ 「～といっしょに」、Harry Potter [hæri pɒtə | ハリ ポタ] 「ハリー・ポッター (英国作家 J. K. ローリング原作の同名小説が映画化されたもの)」、Star Wars [stɑːr wɔːr | スター ウォーズ] 「スター・ウォーズ (米国映画監督で脚本家ジョージ・ルーカスによるシリーズ映画)」、Marvel Franchise [mɑːrvəl fræntʃaɪz | マーヴェウ フランチャイズ] 「マーヴェルシリーズ (米国コミック出版社マーヴェル社発刊の原作マンガ

が映画化されたもの)」、storyline [stɔːrɪləɪn | ストーリライン] **名** 「物語の筋」、Bond film 「ボンド映画 (主人公をジェームズ・ボンドとするシリーズ映画)」、familiar [fəˈmɪljə | ファミリヤ] to ～ 「～になじみがある、よく知られている」

② In the movies, Commander James Bond is a spy, a member of the British Secret Service, whose death-defying acts to defeat evil villains and ‘save the day’ are always assisted by cutting-edge technology, accompanied by womanizing, and flavored by seeming insubordination to his superiors.

構造 ② **In the movies,** 「その映画の中で」 **主 Commander James Bond 動 is 補・名 [a spy,** 「海軍中佐のジェームズ・ボンドはスパイである」 **a member of the British Secret Service,** 「つまり、英国秘密諜報局のメンバー」 **関代 ① whose death-defying acts to defeat evil villains and ‘save the day’** 「悪人を破り『窮地を救う』、その命知らずの行動は」 **動 ② are 副 always ③ assisted 副 [[by cutting-edge technology]],** 「常に最新の科学技術に支えられ」 **accompanied 副 [[by womanizing]],** 「女たらしを伴い」 **and flavored 副 [[by seeming insubordination to his superiors]]** **】**, 「そして上司に不服従と思える態度で風味づけられる」

*1：所有格の関係代名詞 whose で、先行詞は a spy。直前のコンマで挟まれた部分は挿入句で、同じく a spy を追加説明している。

*2：対応する主語は whose death-defying acts。

*3：受動態の過去分詞だが、続く accompanied by ～と flavored by ～との3つの部分の並列。A, B, and C 「A と B と C」の形。

語句 Commander [kəməndə | コマンダ] **名** 「(英) 海軍中佐」、spy [spaɪ | スパイ] **名** 「スパイ」、British Secret Service [brɪtɪʃ siːkrət sɜːrvɪs | ブリティッシュ スィークレット サーヴィス] 「英国秘密情報部 (政府機関)」、death-defying [deθ dɪfaɪɪŋ | デトゥ ディファイング] **形** 「死を恐れない、命知らずの」⇒ defy [dɪfaɪ | ディファイ] **動** 「逆らう」、defeat [dɪfɪt | ディフィート] **動** 「負かす」、evil [ɪːvl | イーヴウ] **形** 「邪悪な」、villain [vɪləɪn | ヴィラン] **名** 「悪人」、save the day 「土壇場で勝つ、危機を逃れる」、assist [əsɪst | アスィスト] **動** 「補助する」、cutting-edge [kʌtɪŋ ɛdʒ | カティング エヂ] **形** 「最新の」、accompany [əkəmpani | アカンパニ] **動** 「同行する」、womanize [wʊmənəɪz | ウマナイズ] **動** 「女遊びをする」、flavor [fleɪvə | フレイヴァ] **動** 「風味をつける」、seeming [siːmɪŋ | スィーミング] **形** 「見かけの、見た目」の ⇒ seemingly **副** 「見たところ、一見すると」、insubordination [ɪnsəbɔːrdənɛɪʃən | インサボーディネイション] **名** 「不服従」、superior [supɪərɪə | スピアリア] **名** 「上司」 **形** 「より優れた」

③ Bond’s taste for luxurious clothing and fine food often showcases him early in the film in the gambling room of a five-star hotel where he gains access to the movie’s villain by seducing a beautiful woman.

構造 ③ **(Bond’s taste for luxurious clothing and fine food)** 「ボンドの贅沢な衣服や素晴らしい食事への好みは」 **副 often 動 showcases 目 him** 「頻繁に彼を見せる」 **副 early in the film** 「映画の早い段階で」 **副 [in {the gambling room of a five-star hotel** 「五つ星のホテルのギャンブルルームで」 **関副 ① where 主 he 動 gains 目 access to the movie’s villain** 「映画の悪人に接近する」 **副 by seducing a beautiful woman** **】**, 「美女を誘惑することで」

*1：関係副詞 where で、先行詞は the gambling room of a five-star hotel。関係副詞は、文を、副詞句中の名詞を先行詞とする名詞節に変換するときに使われる記号。ここでは、He gains access to the movie’s villain in the gambling room of a five-star hotel. 「五つ星ホテルのギャンブルルームで、彼は映画の悪人に接近する。」という文を、the gambling room of a five-star hotel where he gains access to the movie’s villain 「彼が映画の悪人に接近する、五つ星ホテルのギャンブルルーム」という名詞節に変換したものだ。

語句 taste [teɪst | テイスト] **名** 「好み」、luxurious [lʌgʒʊəriəs | ラグジュアリアス] **形** 「贅沢な」、clothing [kloʊðɪŋ | クロウディング] **名** 「(集合的に) 衣服、衣類」、showcase [ʃəʊkeɪs | ショウケイス] **動** 「見せる、展示する」、gambling [ɡæmblɪŋ | ゲームプリング] room 「とばく部屋」、five-star **形** 「五つ星の」、gain access [ɡeɪn æksəs | ゲイン アクセス] 「接近する」、seduce [sɪdʊːs | スィドゥース] **動** 「誘惑する」

④ Bond is also a master of the fighting arts, familiar with all types of weaponry, and capable of driving or piloting any kind of vehicle.

構造 ④ **Bond 動 is 副 also 補・名 ① a master of the fighting arts,** 「ボンドはまた、格闘技の達人で」 **補・形 familiar with all types of weaponry,** 「兵器のあらゆるタイプに精通していて」 **補・形 and capable of driving or piloting any kind of vehicle.** 「そして、どんな種類の乗り物も運転したり操縦したりできる」

*1：補語の並列。a master (名詞)、familiar (形容詞)、capable (形容詞) が A, B, and C 「A と B と C」の形。

語句 master [mæstə | マスタ] **名** 「達人」、fighting arts [faɪtɪŋ ɑːrts | ファイティング アーツ] 「格闘技」、familiar with ～ 「～をよく知っている」、weaponry [wɛpənri | ウェボンリ] **名** 「(集合的に) 兵器」、capable [keɪəpəl | ケイパブウ] of ～ 「～の能力がある」、pilot [paɪlət | パイロット] **動** 「操縦する」、vehicle [viːəkl | ヴィーアクウ] **名** 「乗り物」

⑤ Often, the movies build to a climax, in which Bond, trapped by the villain, overcomes seemingly impossible odds by use of his spy gadgetry, wit, fighting skills, luck, and the assistance of the heroine, who has inevitably fallen in love with him.

構造 ⑤ **Often,** 「頻繁に」 **主 the movies 動 build** 「映画は組みあがる」 **副 [前 to 目 {a climax,** 「山場に向けて」 **in 関代 ① which 主 Bond,** 「ここではボンドは」 **過分 trapped 副 by the villain,** 「悪人に陥れられるのだが」 **動 overcomes 目 seemingly impossible odds** 「一見不可能な確率を乗り越える」 **副 by use of his spy gadgetry, wit, fighting skills, luck,** 「スパイ用の小道具、知恵、格闘能力、運の使用によって」 **and the assistance of** **[[the heroine,** 「そしてヒロインの助力 (の使用によって)」 **関代 who 動 {{has 副 inevitably fallen}}** **副 in love 副 with him** **】** **】**, 「抗えず彼と恋に落ちている」

*1：関係代名詞の which だが、ここでは直前の in とあわせた in which で関係副詞 where と同じ働きになる。先行詞は a climax。Bond overcomes impossible odds in a climax. 「ボンドは山場で不可能な確率を乗り越える。」という文を、a climax in which Bond overcomes impossible odds 「ボンドが不可能な確率を乗り越える山場」という名詞節にしたもの。コンマに挟まれた trapped by the villain は情報を追加する挿入句で、過去分詞 trapped は、直